

付録



競技会で使用する略語・略号

競技会で使用する略号例

記録用紙やスクリーンには、次のような略号を用いて簡潔に表記する。その際、観客や競技者が意味を理解できるように、使用する略号説明一覧の類をプログラムに記載する。

1. スタートリスト・記録用紙・スクリーンなどに用いる略号 (CR25.4)

略号	日本語表記	意味
D N S	欠場	Did Not Start
D N F	途中棄権 (トラック競技・道路競技)	Did Not Finish
N M	記録なし	No valid trial recorded
D Q	失格 ※備考①	Disqualified
○	成功・有効試技 (走高跳・棒高跳)	Cleared
×	失敗・無効試技	Failed
—	パス	Pass
r	試合放棄(離脱) (フィールド競技・混成競技)	Retired from competition
Q	順位による通過者 ※備考②	Qualified
q	記録による通過者 ※備考②	qualified
q R	審判長の決定による通過者	Advanced to next round by Referee
q J	ジュリーの決定による通過者	Advanced to next round by Jury of Appeal
く	ベントニー (競歩) ※備考③	Bent knee (Race Walking)
～	ロス・オブ・コンタクト(競歩) ※備考③	Loss of contact (Race Walking)
Y C	警告	Yellow card
Y R C	2回目の警告	Second Yellow card
R C	レッドカードによる失格	Red card

※備考

① 競技者が規則違反で失格になった場合は、相当する規則番号を明記する。

例：「DQ TR16.8」

「DQ FS」(以下の「3.失格の理由を示す略号の例」を使用) など

なお「競技者にあるまじき行為や不適切な行為」で失格になった場合はその理由について公式記録に明記する。

② 「Q, q」について

・トラック競技の場合 (例：3組2着+2)

Q：各組2着以内の競技者 (Qualified by place)

q：3着以下で記録が上位の競技者2名 (qualified by time)

・フィールド競技の場合

Q：予選通過標準記録突破者 (Qualified by pre-set standard)

q：TR25.15による決勝進出者 (qualified as per TR25.15)

予選通過標準記録を突破した競技者が12名に満たない場合、決勝進出者を12名とすることから、予選通過標準記録突破者に「Q」を、TR25.15による決勝進出者に「q」をつける。

(JAAF-35①, 2021/2)

③ 競歩競技のペントニー(<)、ロスオブコンタクト(～)について

(<)、(～)の略号は競技運営上、競技者にバドルや掲示板で示す場合や、記録用紙に違反マークとして使用される。電光掲示板やリザルトに失格の理由が表示される場合は、「DQ」と「K1～K5」(以下の「3. 失格の理由を示す略号の例」を使用)の表記などが用いられる。

2. 新記録などの略号例

略号	日本語表記	意味
P B	自己最高記録	Personal Best
S B	今季自己最高記録	Season Best
W R	世界記録	World Records
= W R	世界タイ記録	Equal World Records
W I R	室内世界記録	World Indoor Records
= W I	室内世界タイ記録	Equal World Indoor Records
W J R	U20世界記録 ※備考④	World U20 Records
= W J	U20世界タイ記録	Equal World U20 Records
W J I	室内U20世界記録	World U20 Indoor Records
= J I	室内U20世界タイ記録	Equal World U20 Indoor Records
N R	日本記録	National Records
= N R	日本タイ記録	Equal National Records
N I R	室内日本記録	National Indoor Records
= N I	室内日本タイ記録	Equal National Indoor Records
N J R	U20日本記録	National U20 Records
= N J	U20日本タイ記録	Equal National U20 Records
N J I	室内U20日本記録	National U20 Indoor Records
= J I	室内U20日本タイ記録	Equal National U20 Indoor Records
N Y R	U18日本記録 ※備考④	National U18 Records
= N Y	U18日本タイ記録	Equal National U18 Records
N Y I	室内U18日本記録	National U18 Indoor Records
= Y I	室内U18日本タイ記録	Equal National U18 Indoor Records
G R	大会記録♦	Game Records
= G R	大会タイ記録	Equal Game Records

♦ 競技会規模や性格により異なる大会記録略号の例

G R	国体など	Game Records
C R	選手権大会	Championship Records
M R	ゴールデングランプリなど	Meet Records

※備考④ 競技会が行われる年の12月31日現在で、「U20」は18歳あるいは19歳、「U18」は16歳あるいは17歳の競技者のこと。「U20」の記録は19歳以下、「U18」は17歳以下の競技者が出した時に認定される。

(JAAF-35②, 2021/2)

3. 失格の理由を示す略号の例

失格の理由を示す略号は、主催団体が決めてよい。

以下はあくまでも参考例であり規則ではなく、「DQ TR16.8」のように表記してもよい。先にも述べたが略号を使用する場合は、観客や競技者が略号の意味を理解できるように、略号を説明した一覧表の類をプログラムなどに記載することが必要となる。

略号例	内 容	規則番号
FS	不正スタート	TR16.8
T1	他の競技者を妨害した	TR17.2
T2	他のレーンに入った	TR17.3.1
T3	縁石の上、内側ライン上または、その内側を走った/歩いた	TR17.3.2
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	TR17.5
T5	競技者が自らの意思でトラックから離脱した	TR17.6
T6	ハードルをすべて越えなかった	TR22.6
T7	足または脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置を通った	TR22.6.1
T8	手や体、振り上げ脚の上側でハードルを倒した	TR22.6.2
T9	自分または他のレーンのハードルを倒したり移動させて妨害した	TR22.6.3
T10	水濺と障害物をすべて越えなかった	TR23.7
T11	水濺と障害物を越える際に規則違反があった	TR23.7
R1	テイクオーバーゾーン内でバトンパスが完了しなかった	TR24.7
R2	バトン落とした際に規則違反があった	TR24.6.3
R3	コーナートップで並んだ際に規則違反があった	TR24.2.0 又は2.1
K1	ロスオブコンタクトで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K2	ペントニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K3	ロスオブコンタクトとペントニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K4	ロスオブコンタクトで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1
K5	ペントニーで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1

世界記録・アジア記録が公認されるための要件

【全般】 ※世界記録・アジア記録はワールドランキングコンペティションで達成された記録であること (TR11.1 (国際))

要件	参照 規則	WA/AAAが承認に必要な資料・署名など
WA競技規則の適用	CR31.1	競技会はWA規則に基づいて実施
記録の種類	CR31.2	WA/AAAが承認する記録・世界記録/アジア記録・U20世界記録/U20アジア記録 ・ 室内世界記録/室内アジア記録・U20室内世界記録/U20室内アジア記録
最少参加者数	CR31.1	・個人種目は3人以上・リレー種目は2チーム以上
提出書類	CR31.6	WA所定の用紙で90日以内に申請 種目に応じて次の役員の署名 ・ 審判長・写真判定員主任(または計時員3名,またはトランスポンダー主任)・スターター ・ 風力計測員・フィールド審判員3名・計測員(科学)・技術総務・ドーピング検査担当者(DCO) ・ 国際競争審判員3名・WA/AIMS自転車計測員・コース計測担当とコース設置確認担当
提出物	CR31.7	・ 申請書・競技会のプログラム(もしくは電子データ)(CR31.7.1)・当該競技に関するすべての結果(CR31.7.2) ・ フィニッシュの判定写真とゼロコントロールテストの写真(CR31.7.3)
ドーピング検査	CR31.3.5	・ 競技終了後のドーピング検査の実施(リレーは全てのメンバー)
WA認証の施設	CR31.12.1	・ WAの認証の施設=WAクラス1またはクラス2を既得もしくはWA基準で検定し、事後の計測報告書(WA書式)提出 ・ 日本競選は、世界記録申請にあたり、WAクラス1またはクラス2取得を義務付け
男女混合の制限	TR9 CR32【注意】 LI	・ 競技場内のみで行う競技では、フィールド種目を除き、男女混合の競技でないこと(TR9.1以外) ・ 女子道路競走は、男女混合と女子単体の2つの世界記録を公認する ・ 道路競歩は、男女混合は認められる。
国際競争審判員	CR31.19	・ 競争種目では、少なくとも5人の国際競争審判員(WAレベル/地域レベル)

【トラック競技】

要件	参照 規則	WA/AAAが承認に必要な資料・署名など
計時方法 (手動計時・写真システムで記録計時)	CR31.14.1	・800m(4-200m)リレーおよび4+400m(リレーを含む)まで:写真判定装置(CR31.14.2)・800mを超えるトラック種目:写真判定装置または手動計時
非機械的風速計の使用	CR31.14.3	・ 200m以内の屋外種目では、TR17.9-13に規定される方法で測定された風速の報告 ・ TR17.9:非機械的(超音波)風向風速計の使用
スタートインフォメーションシステム (~400m(4×200m)リレーおよび4+400m)リレーを含む)まで)		・ CR32【シニア】及びCR34【シニア室内】の400mまでは、WA認証のスタートフォーマションシステム使用

【フィールド競技】

要件	参照 規則	WA/AAAが承認に必要な資料・署名など
計時方法	CR31.17.1	・ 鋼鉄製巻尺,または高度計を使用し,1人の審判員が確認 ・ 科学計測装置で計測(EDM/VDM)・鋼鉄製巻尺との誤差確認が必要
非機械的風速計の使用	CR31.17.2	・ 走幅跳と三段跳では,TR29.10~12に規定される方法で測定された風速の報告 ・ TR17.9:非機械的(超音波)風向風速計の使用
捨て物の再検査	CR31.17.4	・ 使用された捨て物へのマークと競技後の検査

【道路競技(競走・競歩)】

要件	参照 規則	WA/AAAが承認に必要な資料・署名など
計時方法	CR31.14.1	・ 手動計時・写真判定・トランスポンダーシステムで記録計時
コースの自転車計測		・ WA/AIMS 自転車計測員のA級またはB級によって計測
コースの条件		・ 道路競走では,次の条件を満たす
レース当日のコース確認		・ WA/AIMS自転車計測員により,当日のコース設置が正しくなされているかの確認
コース再計測	CR31.21.5 CR31.20.4	・ WA/AIMS 自転車計測員による再計測 ただし,コース計測がA級1名を2名以上で実施され,うち1名が当日の設置確認を実施した場合は不要

世界記録・アジア記録・日本記録が公認されるための要件 確認リスト

【トラック競技】

※世界記録・アジア記録はワールドランキングコンペティションで達成された記録であること (TR11.1 [国際])

○…必須/ーはなくてもよい。

要件	種別 規則	世界記録	U20 世界記録	室内 世界記録	U20室内 世界記録	アジア記録	U20 アジア記録	室内 アジア記録	U20室内 アジア記録	日本記録	U20-U18 日本記録	室内 日本記録	U20-U18室内 日本記録
WA競技規則の適用	CR31.1	○	○	○	○	○	○	○	○				
国際陸連(アジア陸連)への公式な記録申請	CR31.6	○	○	○	○	○	○	○	○				
WAのクラス2以上の施設であること	CR31.12.1	○	○	TR41 TR43	TR41 TR43	○	○	TR41 TR43	TR41 TR43				
判定写真とゼロコントロールテストの写真提出	CR31.7.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドーピングテストの実施	CR31.3.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計時方法 (手動計時・写真システムで記録計時)	CR31.14.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
写真判定装置の使用(～800m(4×200m)リレーおよび4×400mリレーを含む)まで)	CR31.14.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スタートメーションシステム(～400m(4×200m)リレーおよび4×400mリレーを含む)まで)	CR31.14.5	○	ー	○	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー
非機械的風速計の使用(～200mまで)	CR31.14.3	○	○	ー	ー	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
個人種目で3人以上、リレー種目で2チーム以上の出場	CR31.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
男女混合でないこと (TR9において適用外あり)	TR9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
競歩種目:国際競歩審判が少なくとも3人以上	CR31.19	○	○	○	ー	○	○	○	ー	JRW1名	JRW1名	JRW1名	ー

○…必須/ーはなくてもよい。

【フィールド競技】

要件	種別 規則	世界記録	U20 世界記録	室内 世界記録	U20室内 世界記録	アジア記録	U20 アジア記録	室内 アジア記録	U20室内 アジア記録	日本記録	U20-U18 日本記録	室内 日本記録	U20-U18室内 日本記録
WA競技規則の適用	CR31.1	○	○	○	○	○	○	○	○				
国際陸連(アジア陸連)への公式な記録申請	CR31.6	○	○	○	○	○	○	○	○				
WAのクラス2以上の施設であること	CR31.12.1	○	○	TR41 TR43	TR41 TR43	○	○	TR41 TR43	TR41 TR43				
ドーピングテストの実施	CR31.3.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非機械的風速計の使用(走幅跳・三段跳)	CR31.17.2	○	○	ー	ー	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
個人種目で3人以上	CR31.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計測方法 (鋼鉄製巻尺、または高度計で計測し、3人の審判員が確認。 又は、科学計測装置(EDM、VDM)で計測)	CR31.17.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投てき物の再検査	CR31.17.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【ロード競技】

○…必須／―はなくてもよい。

要件	競技規則	世界記録	U20 世界記録			アジア記録	U20 アジア記録			日本記録	U20・U18 日本記録		
WA競技規則の適用	CR31.1	○	○			○	○			*国内通用のルールもあり			
国際陸連(アジア陸連)への公式な記録申請	CR31.6	○	○			○	○			*日本陸連への申請必要			
ドーピングテストの実施	CR31.3.5	○	○			○	○			○ (オリンピック 参加のみ)	―		
個人種目で3人以上、リレー種目で2チーム以上の出場	CR31.1	○	○			○	○			―	―		
計時方法 (手動計時・写真判定・自動応答システムで記録計時)	CR31.14.1	○	○			○	○			○	○		
国際競歩審判が少なくとも3人	CR31.19	○	○			○	○			JRWJ1名	JRWJ1名		
コースの自転車計測 (WA・AIMS計測員AまたはB級)	CR31.20.1 CR31.21.1	○	○			○	○			*国内通用のルールもあり			
コースの条件 (セパレーション・エレベーション)	CR31.21.2	○	○			○	○			○	○		
レース当日のコース確認	CR31.21.4	○	○			○	○			―	―		
コース再計測	CR31.21.5	○	○			○	○			―	―		

※ロードレースの途中計時については、記録が認められることがあるので、CR31.20.5、21.6を確認のこと。

- * 国外で日本記録「(U20・U18を含む)・日本室内記録(U20・U18を含む)」を上回るか同等の成績を記録した場合には、陸連事務局に即時連絡すること。
- * 国外に遠征する場合には、登録証明書海外用を事前に作成し遠征先に提出しておく、記録証明などを入手しよ。 (記録用紙類参照)

競技会開催に関する公認申請

加盟団体あるいは協力団体が直接主催する公認すべき競技会および、それらの下部組織が主催する公認すべき競技会について、加盟団体あるいは協力団体は、事前にそれぞれの競技会要項が公認競技会開催のすべての条件を満たすものであるか審査を行う。加盟団体あるいは協力団体が管轄するすべての公認すべき競技会を一次申請時は本連盟公認競技会システムに締め切り期日までにエクセルデータにまとめてアップロードを行う。一次申請以降の追加・修正・中止時は大会開催前までに随時更新を行い、本連盟競技運営委員会にて承認を行う。毎日午後1:00に承認された競技会が本連盟ホームページで確認できる。ホームページに掲載された競技会のみが国内の公認競技会として認定される。

例外として加盟団体あるいは協力団体が管轄する主要な駅伝競走の競技会もここに掲載する。(駅伝競走は、検定されていない距離の使用、公認コースを使用しない場合がある点において例外である)

(1) 開催が認められる競技場

公認競技会が開催される競技場は、別途本連盟に申請され認可を受けたものでなければならない。競技場の公認には期限があり、競技会の開催日がこの期限内にあることが条件となる。

諸事情により、競技場の公認期限が切れて新たな申請の延長願いが出される場合があるが、この延長期間に公認競技会を開催することはできない。(詳細は本連盟施設用器具委員会に問い合わせること)

(2) 道路競走に関する留意事項

ロードレースなどの道路競走の開催申請にあたっては、実施される各距離の中でも本連盟の検定を受けている距離についてのみを競技会名に続いて(距離)の形で示す。

〔記載例〕※()内が検定を受けている距離

第55回青梅マラソン(30km, 10km)

第71回元旦競歩大会(20km, 10km, 5km)等

主催者はエントリーの際に競技者の登録の有無を確認する。プログラムに登録者であることがわかるように表示する。登録者は所属団体名・登録都道府県名を表記する。未登録者は所属名を表記しないことが望ましい。

(3) 競技会コードに関する事項

すべての公認競技会は特有の競技会コードを持つ。競技会コードは8桁の数字で表され、上の2桁は西暦年の下2桁を利用する。例：2023年→23となる。新規の競技会でなければこの2桁の数字を変えて使用することができる。新規の競技会は各加盟団体ごとに新たなコードを付与し管理する。全国規模の大会は本連盟で番号【50】を管理、新規に競技会を開催する場合は問い合わせを行う。

(参考)

地域	都道府県コード (2017より国体方式に変更)						
1 北海道	北海道 01						
2 東北	青森 02	岩手 03	宮城 04	秋田 05	山形 06	福島 07	
3 関東	茨城 08	栃木 09	群馬 10	埼玉 11	千葉 12	神奈川 14	山梨 15
4 東京	東京 13						
5 北陸	新潟 16	長野 17	富山 18	石川 19	福井 20		
6 東海	静岡 21	愛知 22	三重 23	岐阜 24			
7 近畿	滋賀 25	京都 26	大阪 27	兵庫 28	奈良 29	和歌山 30	
8 中国	鳥取 31	島根 32	岡山 33	広島 34	山口 35		
9 四国	香川 36	徳島 37	愛媛 38	高知 39			
10 九州	福岡 40	佐賀 41	長崎 42	熊本 43	大分 44	宮崎 45	鹿児島 46
	沖縄 47						

日本学生連合 地区学生連盟コード

学連 60	北海道 61	東北 62	関東 63	北信越 64	東海 65	関西 66	中四国 67
	九州 68						

執筆・編集

執筆

日本陸上競技連盟競技運営委員会

編集

審判ハンドブック編集プロジェクトチーム

リーダー：関 隆史

サブリーダー：中村 拓也

メンバー：黒澤 達郎, 佐藤 孝洋, 高田 彬成, 山田 峰生,
吉田 啓

監修：(副委員長) 関根 春幸

協力

日本陸上競技連盟施設用器具委員会

日本陸上競技連盟医事委員会

陸上競技審判ハンドブック2023-2024 年度版

2023年4月1日 第1版第1刷発行

発行 公益財団法人日本陸上競技連盟
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
電話 050-1746-8410

制作・販売 株式会社ベースボール・マガジン社
〒103-8482 東京都中央区日本橋浜町2-61-9
TIE 浜町ビル
電話 03-5643-3930 (販売)

振替口座 00180-6-46620

印刷／製本 大日本印刷株式会社

© 日本陸上競技連盟 2023

乱丁、落丁が万一ありましたら、お取り替えいたします。
文章、図版の無断転載を禁じます。
定価はカバーに記載しています。

フィールド競技試技時間表(票)

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の試技は1分とする。

** 単独種目・混成競技ともに、残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳、棒高跳では高さが変わった場合でも適用する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の試技は1分とする。

** 単独種目・混成競技ともに、残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳、棒高跳では高さが変わった場合でも適用する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の試技は1分とする。

** 単独種目・混成競技ともに、残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳、棒高跳では高さが変わった場合でも適用する。

